

1. 件名: 確率論的リスク評価に関する電力中央研究所との面談

2. 日時: 令和4年8月1日(月)14:30~16:00

3. 場所: 原子力規制庁 2階大会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 武山検査監督総括課長、清丸検査評価室長、

米林上席検査監視官、笠川室長補佐、沼田主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター 副所長 他1名

5. 要旨

確率論的リスク評価(PRA)に係る電力中央研究所の研究開発状況を聴取するとともに、PRA をより効果的に原子力規制検査に活用するための課題についてフリーディスカッションを行った。

電力中央研究所からは、「リスク情報活用の実現に向けた戦略プラン及びアクションプラン(2020年改訂版)」(電気事業連合会)及び「NRRC 研究ロードマップ」(2022年3月、原子力リスク研究センター)に基づき、PRA に関する各種研究開発を実施している旨の説明があった。また、内の事象を対象としたレベル1PRA モデルについては既に実機に適用している段階にあり、現在地震や津波等の外部事象も考慮した PRA モデルの高度化を進めているとの説明があった。

原子力規制庁からは、PRA モデルの適切性確認等について、先週(7/27)原子力規制委員会へ報告したことを紹介するほか、PRA モデルの改善に向け、非常用ディーゼル発電機を始めとした国内機器故障率や外部電源喪失発生頻度等の個々の課題について、引き続き電力中央研究所と議論していきたい旨を表明した。

6. 配布資料

NRRC 研究ロードマップ(2022年3月、原子力リスク研究センター)